

令和2年度業績の概要

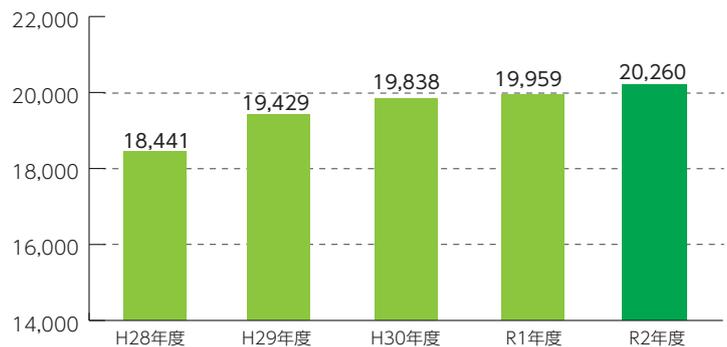
日本銀行の金融緩和政策の継続により、金利が引き続き低水準で推移するなか、令和2年度の業績は、次のとおりとなりました。

■ 貯金残高

会員JAからの預り金を中心に前期比301億円増加し、2兆260億円となりました。

〈貯金残高の推移〉

(単位：億円)

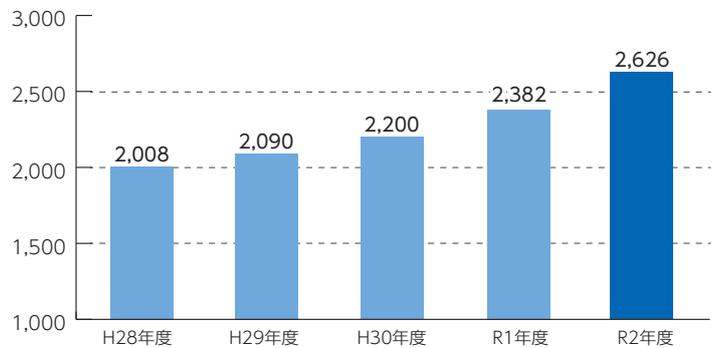


■ 貸出金残高

県内農業法人や地場企業、県外企業等への積極的な資金提案、コロナ対応に取り組んだ結果、前期比244億円増加し、2,626億円となりました。

〈貸出金残高の推移〉

(単位：億円)

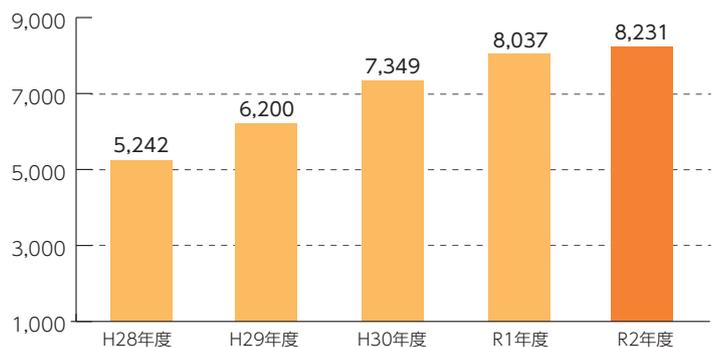


■ 有価証券残高

円貨建債券への投資のほか、株式、ETF、外貨建外債などへの分散投資により残高の積み増しに努めた結果、前期比194億円増の8,231億円となりました。

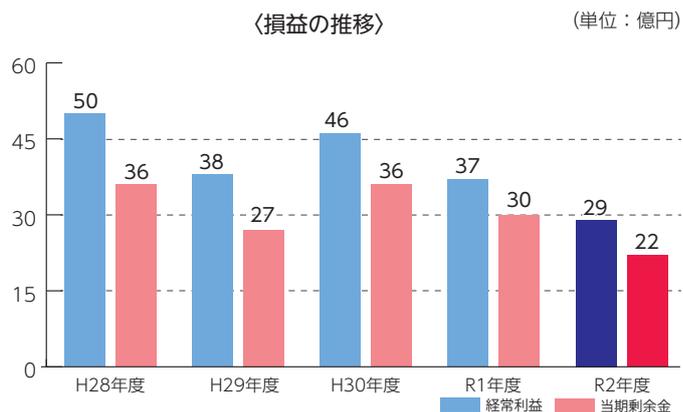
〈有価証券残高の推移〉

(単位：億円)



■ 損益

貸出金および有価証券の残高増強を図ったものの、運用利回りが低下したことで、経常利益は前期比7億円減少し、29億円となりました。また、当期剰余金は前期比7億円減少し、22億円となりました。



■ 自己資本額・自己資本比率

自己資本額は、前期比12億円増加し、1,272億円となりましたが、運用資産残高増強にともない、リスク・アセット額が増加したことにより、自己資本比率は前期比0.33ポイント低下の12.81%となりました。

なお、同比率は、安全基準とされる国内基準の4%、国際基準の8%を上回っており、高い安全性・健全性を維持しています。

